

①画…活かされています！赤い羽根共同募金

②画…親の会・ぶるーぽひい
市民グループ『子どもと本』

③画…南区社協からのお知らせ

社協 みなみ

■発行日：平成27年9月1日

■発行：社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会 会長 大津 幸雄

〒232-0024 南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階

Tel.045-260-2510 Fax.045-251-3264

http://www.minami-shakyo.jp

南区社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らしていくために、ボランティア、福祉・保健関係者や行政の協力を得ながら地域の福祉活動を進め、またその活動を応援する組織です。

活かされています！赤い羽根共同募金

～ひとりひとりのあたたかい気持ちが南区の福祉を支えています～

10月1日

▶12月31日

赤い羽根
共同募金

共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

都道府県ごとの地域福祉の推進を図るため、皆さまからの募金を活用して、民間の福祉施設や団体が実施する様々な事業を支援することを目的としています。



どんなところに活用されているの？

集まった募金の約70%は、じぶんの町を良くするために使われています。

南区では高齢者配食・会食活動、障がい当事者活動、福祉のまちづくり活動、高齢者・子育てサロンなど身近な地域福祉活動を支える貴重な財源となっています。

(※次ページで共同募金の配分を受けている団体の活動をご紹介します)

残りの30%は、市区町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われています。



共同募金はさまざまなかたちで ご協力いただいています！

各家庭や商店、学校や企業など、南区のさまざまなかたちでお寄せいただいた募金は、平成26年度総額で20,749,084円でした。このうち93%は自治会・町内会等を通じて各家庭よりお預かりした戸別募金となっています。

- ◇戸別募金：地域の各家庭へ募金を呼びかけ……【19,324,078円】
- ◇街頭募金：人の集まる場所で募金を呼びかけ……【656,167円】
- ◇法人・職域募金：企業や企業の職場での募金を依頼……【609,672円】
- ◇イベント・その他募金：
 - イベントにおいて募金を呼びかけ・募金箱設置など……【95,643円】
- ◇学校募金：学校において募金を呼びかけ……【63,524円】



募金箱・社会貢献型自動販売機の設置にご協力いただける商店や施設などを募集しています。



10/4(日)の南なんデーの会場で500円以上を寄付していただくと、神奈川県限定募金バッチをお渡しします！

みなさまからお寄せいただいた共同募金の一部は、
トモニー助成金として、南区内の福祉保健団体を支える
貴重な財源になっています。
今回は、その配分を受けている団体の活動をご紹介します。



～学びあい・支えあいの憩いの場～ 親の会・ぶるーぽぴい

『ぶるーぽぴい』は、発達凸凹のために学校や日常生活に困難さを感じている子どもの保護者が主体となって活動しています。学校の保健室登校（教室には長く居られないが保健室では過ごすことが出来る）をする子どもの保護者同士のつながりがきっかけとなり、お互いの情報交換や当事者間のコミュニケーションの場として親の会を立ち上げ、交流を深めていると言います。

親子交流会や茶話会のほか、公開勉強会や相談会なども全て保護者が立案、実施しています。取材に伺った「親子交流会」では、前半は保護者の中に退任された保健室の養護教諭が加わっておしゃべりしながら情報交換し、その間、子どもたちはカードゲームなどをしながら自由に時間を過ごしていました。後半は子どもたちも一緒にクッキーづくり。焼きたてのクッキーを食べながら、さらに交流を深めていました。

参加者からは「親子で『ぶるーぽぴい』に参加してからは親同士のつながりができ、子どもたちの情報交換も多くできるので、参加して良かった。」「今後も長い期間を通じて子どもの英知を伸ばせる環境づくりをして、成長を見守る良き理解者や支援者を増やしていくことが大事」との声が聞かれました。



『ハッピーな時間を』 ～みんないっしょのおはなし会～ 市民グループ『子どもと本』

市民グループ『子どもと本』が主催する「おはなし会」は、南図書館で毎月開催しています。「子どもと読書」をテーマにした南区家庭教育学級運営委員の募集に集まったことがきっかけとなり、市民グループを立ち上げて今年で24年目を迎えました。

取材に伺った日は、前半は2歳児までの親子、後半は4歳児までの親子が20組程参加していました。絵本の読み聞かせや紙芝居のほか、梅雨にちなんだ手遊びで親子の触れ合いあそびをしたり、メンバーの田崎さん手作りのパネルシアター「あめふりくまのこ」に合わせてみんなで歌ったりと、盛りだくさんのおはなし会はあっという間にお別れの時間。小さな子はリズムや雰囲気を楽しみ、大きくなると紙芝居など作品やプログラムそのものを楽しんでいる様子でした。

参加者は「自分が知らない手遊びなどを教えてもらえる」「おはなし会をきっかけに、図書館に来て、他の本も手に取るようになった」など、毎月のおはなし会を楽しみにしていると話してくれました。中には、孫のために一人で来館する参加者も。「心のやすらぎの場として、ハッピーな時間を一緒に過ごしたい」と、子どもと本のみなさん。メンバーの松本さんは、お子さんが小さい時におはなし会に参加しており、幼稚園に通うようになってからメンバーに加わったと言います。今では、高校生になったお子さんがパネルなどのイラストを描いているそうです。ほかにも、子育てサークルを立ち上げた方がいたり、おはなし会をきっかけに活動の輪が広がっています。



南区社協からのお知らせ・ご報告

平成26年度 南区社会福祉協議会事業報告

「第2期南区地域福祉保健計画（平成22年～27年）」は、推進5年目を終え、取組みが一層進んでいます。なかでも、地区別計画においては、子どもを対象としたサロンが全地区で設置され、高齢者を対象としたサロン等の事業も各地区で積極的に実施されました。また、テーマ別（対象別）計画においては、部会と地域、団体が連携して取組んだ結果、障がい児や家族が地区社協と連携し、障害児者避難スペースづくり体験や障がい児者家族のグループによる障がい理解を深めるための出前講座の実施、また、スポーツを通じた交流会の実施等、部会と地域、団体の連携が進みました。

16地区社協の推進地区2地区の取組みについて、永田みなみ台地区では「永田みなみ台地区見守り隊」の実践活動を支援し、地域の見守り体制の構築に向けて、地域と関係機関が一緒になって取組を進めました。また、井土ヶ谷地区では、ちょっとボランティアの活動を支援し、担い手育成に取り組んだほか、障がい理解への研修会を開催しました。

I 福祉・保健のまちを支える担い手をみんなで育てよう【担い手育成】

- (1) 人材育成のための研修の実施
- (2) テーマ別、対象別ボランティア講座の開催

II 身近なまちの福祉保健情報をわかりやすく、みんなに発信しよう【情報発信】

- (1) 広報紙「社協みなみ」発行やホームページ運営
- (2) 情報共有・発信の仕組み構築



III 身近なまちにつどい、みんなが活動する場を広げよう【活動の場づくり】

- (1) 子育てサロンの開設や運営の支援
- (2) 高齢者や交流を目的としたサロン、食事会などの運営支援

IV 身近なまちの支えあい・ネットワークをみんなで創ろう【ネットワークづくり】

- (1) 地域支えあいネットワークの運営支援、地域ケア施設の地域交流事業の支援
- (2) 各種連絡会との連携や情報交換

V 身近なまちの生活課題に応えるサービスを充実しよう【身近なサービスの創造】

- (1) 地区社会福祉協議会支援
- (2) 南区地域福祉保健計画の推進

VI 災害時に要援護者をみんなで支えよう【要援護者支援】

- (1) 災害救援ボランティアネットワーク（サブネット）会議の開催
- (2) 南区障害児者団体連絡会防災部会等への支援

収支決算概要

(単位：円)

| | 収入額 | 支出額 | 収支差額 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計 経常活動 | 93,897,241 | 95,079,787 | △ 1,182,546 |
| 公益会計 経常活動 | 16,292,333 | 15,783,639 | 508,694 |
| 合計 | 110,189,574 | 110,863,426 | △ 673,852 |

第10回レインボーフェスタ☆みなみ

地域住民と社会福祉施設、学校等の地域交流まつり。和太鼓、中華獅子舞、模擬店、フリーマーケット、各施設紹介コーナーなど。今年は10周年記念行事も予定しています。楽しいひと時をお過ごしください。

【日 時】9月26日（土）10時～14時

【場 所】どんとこい・みなみ、中村地区センター、中村特別支援学校、中村小学校

【問合せ】どんとこい・みなみ 担当：下川原、中根 【電 話】264-2866 【FAX】264-2966



善意銀行寄付者

(H27年4月1日～6月30日)※敬称略、順不同

環境推進委員さわやかママ／南区吟剣詩舞道連盟／明るい社会づくり運動南区協議会／田代 美登鯉／日本キリスト教団蒔田教会／渡辺(姓のみ)／手芸ボランティアすずらん／匿名5件



編集委員紹介 (アイウエオ順)

相澤君夫・池田昭太郎・大八木綾子・末永寿美子・並木慎一・美甘康信

★「社協みなみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。

南区ボランティアセンターだより

ポラび!!

no.23

「ポラび!!」のびは
ピッピッと感じるアンテナ
ピースのび
ぴかいちのび
Pit inのび



南区ボランティアセンター
南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設8階
Tel. 260-2531 Fax. 251-3264
◆開館：年末年始をのぞく午前9時～午後5時◆
(日・祝祭日も開館しております)

♪ ボランティアの「はじめの一歩」を応援します! ♪

いきいきふれあい南なんデーで
ボランティア情報コーナー **OPEN!**



日時：平成27年 **10月4日(日)**
10:30～14:30 (予定)

*オープニングイベント終了後～
福祉体験コーナー終了まで



場所：**大岡健康プラザ**

南スポーツセンター・大岡地区センター・
大岡地域ケアプラザ

南なんデー福祉体験コーナー

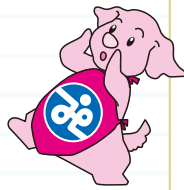
車いす・アイマスク・点字・
手話の体験ができます。
4つ体験した方には、
プレゼントがあります。



南なんデーでは、体験コーナーのほかにも、ボラ連加入団体が
さまざまなイベントで活動します。

まずは講座で学びたいという方は...

ボランティア入門講座



- *日 時：11月28日(土) 午前10時～12時
- *場 所：トモニー(南区福祉保健活動拠点)
- *参加費：無料
- *問い合わせ・申込み：電話で南区ボランティアセンターに申込み

ボラメイト

南区内で活動するボランティア
仲間(メイト)を紹介します

傾聴みなみ 代表 長谷川戦時

「傾聴」ってなに…? 「聞く」と「聴く」
はどう違う?

「聴く」とは、「自分の耳と目と十四
の心をフル活動させて、話し手が言
いたいこと、伝えたいと願っているこ
とを、深い思いやりと温かい心でうけ
とめる」こと。そんなコミュニケーションの方法のひとつが「傾聴」
です。

「傾聴みなみ」は、「傾聴ボランティア養成講座」受講生OB会と
して平成21年10月に発足したボランティアグループで、区内の特
別養護老人ホーム、地域ケアプラザなど福祉施設で傾聴ボラン
ティア活動を行っています。

毎月第3木曜日13時30分～15時30分の定例会では、活動をし
て嬉しかったこと、困ったことなどの分かち合いや、スキルアップの
ための学習会、他区・他市の傾聴ボランティアグループとの交流
会などを行っています。

*定例会の見学など、お問合せは南区ボランティアセンターまで



南区ボランティア連絡会研修会 横浜市営地下鉄川和車両基地見学

6月16日(火)、横浜市営地下鉄グリー
ンライン川和車両基地を見学しました。

グリーンラインは、磁石の反発の原
理(線路側と車体側で反発しあって前進
する仕組み)を利用した、リニアモーター
式地下鉄です。コンパクトな車両のためトンネルが小さく建設コ
ストが低い、急勾配の走行が可能なので、駅が地下深くならな
いという特徴があります。



川和車両基地は、車両を留置・検査・修繕・管理する施設。
検査は、「列車検査」、「月検査」、「重要部検査」、「全般検査」、
それに臨時で行われる「臨時検査」があり、期間と検査内容が
細かく決められているそうです。

また、毎日終電後から始発までの限られた時間で、線路等の
保守・点検が行われています。地下鉄を安全に運行するために、
職員の方が昼夜を問わず努力されていることがわかりました。

★ レインボーフェスタ☆みなみ ★

ボランティア募集!!



★日 時 平成27年9月26日(土)
午前8時30分～午後3時

*ボランティア活動時間。フェスタの開催時間とは異なります。

★場 所 中村特別支援学校とその周辺地区

★内 容 レインボーフェスタ☆みなみでの中村特別支援学校
児童生徒の車椅子移動介助と見守り

ボラび掲載内容の問い合わせ・申込みは
南区ボランティアセンター TEL.260-2531